

オーバード
キッズシアター

この世界の
支配者は



×だった?!

© 藤子プロ・小学館

舞台 三つ又の皿

【原作】藤子・F・不二雄 【脚色・振付・演出・出演】スズキ拓朗

2027/1/10 SUN

オーバード・ホール 中ホール

開演 14:00 / 開場 13:30

藤子・F・不二雄の
傑作SF短編を、初の舞台化!

AUBADE HALL

Introduction はじめに

音楽やダンス、映像、文学、漫画など、様々なジャンルとクロスオーバーしていくことを掲げた作品として、国民的人気漫画『ドラえもん』の生みの親であり、高岡市出身の藤子・F・不二雄が1969年に発表した短編SF漫画『ミノタウロスの皿』を世界初舞台化します。「食べる側」と「食べられる側」の立場が逆転した世界。言葉は通じて価値観が全く通じないことや、自らの常識から抜け出せない人間のジレンマを鋭く描いた本作。その強烈な風刺と衝撃的な結末は、半世紀を経た今もなお、読者の心に深く残り、考えさせられます。この不朽の名作を、令和6年度(第75回)芸術選奨舞踊部門・文部科学大臣新人賞を受賞した気鋭のアーティスト、スズキ拓朗が脚色・振付・演出を手掛け、富山公演では主演もいたします。スズキ独自の表現で、原作の普遍的な問いを現代に蘇らせ、4歳以上の未就学児から大人まであらゆる世代が楽しめる舞台をお届けします。

Staff&Cast スタッフ・キャスト

【原作】藤子・F・不二雄

本名、藤本弘(ふじもと ひろし)。1933年12月1日、富山県高岡市生まれ。安孫子素雄氏と合作を始め、1951年『天使の玉ちゃん(共著)』でまんが家デビュー。「藤子不二雄」名義で本格的に活動する。1987年のコンビ解消後、「藤子・F・不二雄」として、児童漫画の新時代を築く。主な代表作は『ドラえもん』『オバケのQ太郎(共著)』『パーマン』『キテレツ大百科』『エスパー魔美』『SF短編』シリーズなど。1996年9月23日、62歳の生涯を閉じる。『ドラえもん』は、19の地域と16の言語で翻訳され、今もなお、世界中の子どもたちに、読み続けられている。

【脚色・振付・演出・出演】スズキ拓朗

振付家、演出家、ダンサー。ダンスカンパニーCHAiROI PLIN主宰。コンドルズ所属。蛭川幸雄が学長を務める桐朋学園芸術短期大学に入学し、演劇・パントマイム・ダンスの基礎を学ぶ。令和6年度芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞、令和元年度文化庁芸術祭舞踊部門新人賞、第46回舞踊批評家協会新人賞、第9回JaDaFo賞、横浜DANCE COLLECTION EX2011奨励賞、若手演出家コンクール2013最優秀賞など受賞。NHK『みつけた!』振付出演。『刀剣乱舞』『文豪ストレイドッグス』、日生劇場、博多座公演への振付など多数。フィリップ・ドックフレ作品などにも客演。平成27年度東アジア文化交流使。

【美術・映像】青山健一 【照明】富山貴之 【音楽】清水ゆり 【音響】大久保友紀
【衣裳】渡部淳子 【ヘアメイク】川端富生 【演出助手】神野真理亜 【舞台監督】山添賀容子

Story あらすじ

宇宙空間で制御不能に陥った宇宙船。乗組員一名を残しイノックス星に不時着する。そこには酸素も原始的な文明も存在した。幸い人類もいて、乗組員(スズキ拓朗)は手厚い歓迎と看護を受ける。その看護してくれた人類の中に、ミノア(内田未来)という名の少女がいた。乗組員はいつしかミノアに好意を抱き、仲良くなるのだが、実はイノックス星は、地球で云うところの、牛(イノックス星ではズン類と呼ばれている)が支配階級で、人類(イノックス星ではウスと呼ばれている)はその家畜だったのだ。あらためて支配階級のズン類の歓迎を受ける乗組員。だが、驚くべき事実を告げられる。それは、ミノアは年に一度のミノタウロスの大祭で大皿に乗せられて、ズン類の食用に供される家畜だったという事実。しかも、それはイノックス星では最高の名誉で、そのためにウスは存在しているのだ、と。やがて、大祭の日がやってくる。乗組員は、ある決意をもって会場に向かう……。



スズキ拓朗



内田未来



森田真和



谷山知宏



柏木俊彦



鈴木幸二



小林らら



星 初音



美守 桃



関口 晴

制作 | 新国立劇場

2027/1/10 SUN 開演 14:00/開場 13:30
オーバード・ホール 中ホール

チケット料金 (全席指定・税込)

一般 6,000円 ジュニア(18歳以下) 2,500円

親子ペアチケット※ 限定30組 7,000円

※一般1名・ジュニア1名のペアチケット。

アスネットのみ取扱い・当日引換必要。

アスネット会員先行発売…10月12日(月・祝)のみ
発売日 一般発売…10月24日(土)～
※両日とも10時より発売開始

チケット取扱い

- アスネットカウンター(オーバード・ホール 大ホール1階)
TEL.076-445-5511 営業時間/10:00～18:00
定休日/月曜(祝日の場合は、翌平日休み)、年末年始
- アスネットオンラインチケット www.aubade.or.jp
- チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:544-944]
- ローソンチケット l-tike.com [Lコード:56027]

※4歳から入場可。(チケットが必要です。)

※親子ペアチケットはアスネットカウンター・オンラインのみで取扱いします。公演当日、開演1時間前より親子ペアチケット受付にて座席指定券との引換が必要になります。

※車椅子席は事前予約が必要です。アスネットカウンターまでお問合せください。

※やむを得ない事情で、公演情報等に変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。

※営利目的のチケットの転売は固くお断りします。

※公演の中止、延期を除き、ご購入済みのチケットの変更、キャンセル等はお受けできません。



オーバード・ホール 中ホール ☎930-0858 富山市牛島町9-17(富山駅北口より徒歩3分)

※オーバード・ホールには駐車場がありませんので、お近くの有料駐車場をご利用ください。公共交通機関のご利用をおすすめします。
※大ホールは改修工事のため、ホール間の通り抜けはできません。

主催/(公財)富山市民文化事業団、富山市 共催/北日本新聞社、北日本放送

お問合せ (公財)富山市民文化事業団 総務企画課
TEL.076-445-5610(平日8:30～17:15)

詳しくは
こちらから

